

HOMI わいわい農園ニュース

N036 2026 年8月23 日発行

発行責任者 森 賢一 ☎090-4466-5771 Email:homiynoen@gmail.com

「8 月 20 日中日新聞」が初めて全国版で、「HOMI わいわい農園」の活動を報道・・・愛知・豊田保見団地の住民ら各国の野菜 共生栽培

「中日新聞」発行部数は、2023 年下半期平均で 179 万部（朝刊）です。東海 3 県（愛知県・岐阜県・三重県）でシェア 1 位であり、読売新聞、朝日新聞に次いで全国 3 位の発行部数を誇っています。

「中日新聞」の発行対象地域は、東海 3 県を中心に、静岡県、長野県、滋賀県、福井県、和歌山県です。「東京新聞」も中日新聞社が発行しているため、内容に共通する部分もありますが、地域に特化した情報が異なります。「東京新聞」は東京都と関東各県（埼玉県、千葉県、神奈川県、茨城県、栃木県、群馬県、静岡県）で発行しています。

（注）著作権の関係で、中日新聞の「HOMI わいわい農園」の記事を、このニュースで転載

7 月史上空前・「酷暑」の中の「HOMI わいわい農園」



写真はベトナムの青年たち

豊田市は 7 月 21 日、全国初の「酷暑」で 41.1℃を体験し、それを含めて連日 39℃前後の高温を記録しました。「酷暑都市・豊田」の名を全国に喧伝しました。

7 月 26 日（日）は、「酷暑」に近い高音が予想されたため、共同代表の森とネイアさんが相談し、通常の 9～12 時の協働作業を中止し、健康に自信のある人だけに参加をよびかけ、25 日（土）と 26 日（日）の早朝 7 時～8 時の限定作業を行いました。それでも、木村、タカキ、ネイア、渋谷、そしてベトナム青年 5 人が参加し、真夏早朝の草刈り、水撒きなどに汗を流しました。

8月9日(日)久しぶりの協働作業(長崎被爆 81 周年記念日)

参加者／斎藤、渋谷、タカキ+裕+α、
前野、大鵬、ベトナム青年5人、
ネイア・ワダウエ、メラ、



ベトナム青年たちが中心となって植えた
空芯菜やつゆムラサキをたくさんの収穫
してみんなで分け、またトルシーダの子ども

も食堂へ提供しました。暑さに負けないように、草刈り、水撒きをみんなで手分けして行いました。

8月9日(日)11時02分、「長崎原爆81周年記念式典」の実況ラジオ放送に合わせ、みんなで多くの原爆犠牲者の霊をとむらい、世界の平和を願いながら「1分間の黙とう」を行いました。

この日、中日新聞本社の中根真依記者が、農園活動と平和を祈る黙とうなどの一部始終を丹念に取材し、8月20日の中日新聞・全国版に掲載されました。



8月23日(日)協働作業日 9時～12時、於)HOMI わいわい農園

9月以降の秋野菜の定植・栽培の準備・・・

(草刈り、土起こし、元肥散布、畝たてなど・・・)